

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 5年 6月 6日更新

事務事業名		人権ふれあいセンター運営審議会運営事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	教育委員会事務局 教育部	課長名	田中 政吉
	施策	12	人権が尊重される社会づくり			所属課	人権啓発教育課	担当者名	緒田 友一
	施策の柱	44	人権教育啓発活動実践の推進			所属班	人権ふれあいセンター	(内線)	248-3893
予算科目	会計一般	款 3	項 1	目 9	事業連番 10887	根拠法令	合志市人権ふれあいセンター及び合志市合生文化会館条例		
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	社会福祉法に基づく隣保館設置運営要項により、昭和57年度に合志町隣保館を建設すると同時に本審議会を設置した。時代に沿った人権・同和問題や同和問題の原点に戻っての住民啓発について様々な論議を行うとともに、理想的なセンターのあり方などを先進地視察を通して研修し、円滑な運営に努めている。 令和5年度より人権ふれあいセンター運営事業へ統合（4事業を1つに統合）
【業務の流れ】	審議会の開催日時調整、開催通知、資料作成、報酬・費用弁償支払い事務、先進地研修の企画立案や相手先との交渉
【主な予算費目】	報酬、費用弁償
【意見や要望】	地域住民や運動団体から隣保館事業の活性化を望む意見があっている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	審議会の先進地視察研修は合生文化会館の運営審議会と合同研修会(恵楓園歴史資料館)を実施した。 【基準に達しなかった理由】コロナ禍により1回目の運営審議会を中止したため。	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 運営審議会を開催し、前年度の事業報告と新年度の事業計画について審議、2回目を先進地研修に於て、隣保事業のあり方を学習する予定である
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人 ア: 運営審議会委員 イ: 審議会開催回数	予算の主な増減の理由
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	人権ふれあいセンター運営審議会	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 人 ア: 委員数 イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	人権ふれあいセンター運営審議会の運営	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 件 ア: 審議会で出される苦情の数 イ:
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠 より良い運営や事業推進のためには委員の理解が欠かせないため		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	2年度実績(決算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	4年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	人回	人	11	11	15	11				
② 対象指標	人	人	11	11	15	11				
③ 成果指標	件	件	0	0	0	0				
投資入費量	財源内訳	千円								
	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	47		107	41				
(A) 事業費計	千円	47	0	107	41					
(A)のうち指定経費	千円	30	0	67	26					
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0					
人件費	人	人	1	1	1	1				
正規職員従事人数	人	人	1	1	1	1				
延べ業務時間	時間	時間	200	100	120	100				
(B)人件費計	千円	千円	788	391	478	380				
トータルコスト(A)+(B)	千円	千円	835	391	585	421				

事務事業名	人権ふれあいセンター運営審議会運営事業	所属部	教育委員会事務局 教育部	所属課	人権啓発教育課
-------	---------------------	-----	--------------	-----	---------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため会議は中止した
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 審議会・研修会を各1回予定しており、センターの運営や事業についての審議及び研修を実施する予定である
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 隣保館職員と運営審議会委員がともに学びあってより良い隣保館運営に努力する必要がある
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある <small>☞</small> (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 単独施設の運営審議会であり、他に類似事業はない
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 公の施設運営の論議の場であり、委員の報酬と費用弁償のみのため削減の余地はない
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の人員で対応しているため削減の余地はない
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 周辺地域を含めた地域社会全体の中で、福祉の向上や人権啓発の拠点とした事業であるため公平・公正である
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 公の施設運営の論議の場であり、行政の責務としての事業のため適正である

3 評価結果の総括 (CHECK)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため会議は中止したが、先進地研修を合生文化会館と合同で実施した

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない) 令和5年度より人権ふれあいセンター運営事業へ統合 (4事業を1つに統合)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						